

事務事業名		公共土木施設災害復旧事業 (R2災)		所属部	建設部	所属課	建設工務課		
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	公共災害復興チーム	課長名	松村 直樹		
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	錦織 健人	電話番号	0854-40-1062 (内線) 2474		
	目的 対象	市民	意図 市内及び市外へ安全で便利に移動できる。	予算 科目	会計	款	大事業 大業名		
	目的 対象	道路利用者	意図 安全に移動できる。		項	目	中事業 中業名		
基本事業	〈035〉道路の維持管理		0	1	5	5	0	3	現年発生公共土木施設 災害復旧事業
			1	0	1	0	0	1	現年発生公共土木施設 災害復旧事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
災害発生箇所	道路、河川の機能を復旧することによって、安全に利用することができる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R2 年度 ~ R3 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市管理の河川、道路の被災箇所の復旧工事を実施する。 【災害復旧基準】 日雨量80mm以上、時間雨量20mm以上 河川の場合は雨量の他に断面積の2分の1以上の流量が必要。 補助対象事業費は60万円以上である。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
工事監督 ・河川5箇所 ・道路9箇所	日常の道路・河川点検が必要であり、職員によるパトロールを実施した。 災害調査、測量設計については外部委託を行い事務の軽減を図った。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 発注率	%		100.0	0.0	
イ 完了率	%		69.0	31.0	
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
【地方債】災害復旧事業債 【繰越分】 工事費: 26,578千円	財源内訳	国庫支出金	千円				0	17,727
		県支出金	千円					
		地方債	千円				0	8,800
		その他	千円					
		一般財源	千円				0	51
事業費計		千円		0	0	26,578	0	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	災害復旧工事の監督を行い、全箇所の工事を完了させ安全性を確保した。
② 事業実施するうえでの課題	災害発生から復旧工事まで効率的に進捗するよう心掛けている。河川や道路については日常のパトロールで記録を残すことが必要。
③ 課題解決に向けた改革改善等	災害復旧事業は異常な天然現象によるものであるため、事業量の把握は困難であるが、現状どおり事務の効率化を図ることは必要。